

文部科学記者会・科学記者会

厚生労働記者会・厚生日比谷クラブ 同時発表

2025年6月4日

横浜市立大学

プライマリ・ケアの質の高さは予防医療に関連があることを PCPCM 評価尺度で実証 ーインフルエンザワクチン接種率の全国調査で明らかにー

横浜市立大学大学院データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻の金子 惇准教授らの研究グループは、全国20～74歳の一般住民800名を対象としたオンライン調査から、プライマリ・ケアの質を評価する「患者中心のプライマリ・ケア評価尺度（PCPCM: Person-Centered Primary Care Measure）^{*1}」のスコアが高いほどインフルエンザワクチン接種率が有意に高いことを初めて実証しました。

本研究成果は、「Family Practice」に掲載されました（2025年5月28日オンライン）。

研究成果のポイント

- 全国規模の無作為抽出オンライン調査（回答者800名）で、PCPCMが高い群は「かかりつけ医なし」群に比べ、接種率が約2倍（調整済みリスク比= 2.02, 95%信頼区間は1.51-2.70）であった。
- PCPCMスコアが上がるほど接種率が上昇する用量反応性を示した。
- プライマリ・ケアの質の高さと予防接種などの公衆衛生上重要なアウトカムに、関連があることを実証した。

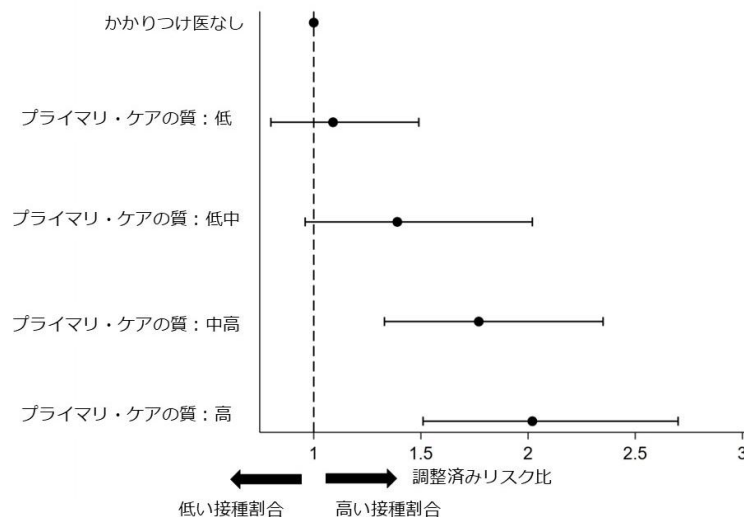


図1. プライマリ・ケアの質とインフルエンザワクチン接種率

調整済みリスク比は年齢、性別、教育歴、世帯年収、主観的健康観、婚姻状況、雇用状況、慢性疾患の数を調整した上で、かかりつけ医なしに比較して何倍インフルエンザ予防接種を受けているかを表している。

研究背景

インフルエンザワクチンは全年代で推奨される予防医療である一方、接種率は依然十分とはいえません。プライマリ・ケアは予防接種実施の主要な場であり、その質の指標として近年開発された PCPCM は 11 の領域を 11 項目で包括的に測定できる短尺度ですが、臨床アウトカムとの関連は未検証でした。本研究は、PCPCM スコアとワクチン接種という具体的アウトカムの関連を初めて評価しました。

研究内容

本研究では、2022 年 11 月から 12 月にかけて、全国 150 万人規模のインターネット調査パネルから年代と性別がばらつくように抽出した 1,112 名にアンケートを送り、800 名（回答率約 72%）の回答を得ました。質問票では、①ふだん健康相談に行く「かかりつけ医療機関」があるか、②その医療機関での受診体験を 11 項目で評価する「PCPCM」スコア、③過去 1 年以内にインフルエンザワクチンを受けたか、を尋ねました。

回答を分析したところ、かかりつけ医を持たない人の接種率は 22% だったのに対し、かかりつけ医をもち、かつ、PCPCM スコアが最も高い人たちでは 54% と、2 倍以上の開きがありました。年齢・性別・学歴・収入など生活背景を考慮して計算し直しても、この差は統計的に確かでした。また、PCPCM スコアを 4 段階に分けて比較すると、スコアが一段階上がるごとに接種率が着実に上昇しており、PCPCM で測定されるプライマリ・ケアの質が高いほどワクチン接種が高いことが示されました（図 1）。

今後の展開

PCPCM は 28 言語に翻訳され世界で利用が拡大しています。本研究は同尺度が臨床アウトカム改善と結び付く可能性を示した最初のエビデンスであり、各国でのプライマリ・ケアの質の測定を後押しする成果です。今後は他の予防医療や慢性疾患に関するアウトカムとの関連を検証し、因果推論を可能にする縦断研究などを私たちの研究チームで行っていく予定です。また、今回の成果をきっかけに諸外国の研究者によるこの領域の研究の更なる進展が期待されます。

研究費

本研究は、JSPS 科研費 JP24K02670 の助成、および横浜市立大学第 5 期戦略的研究推進事業の支援を受けて実施されました。

論文情報

タイトル：Higher Person-Centered Primary Care Measure Score Is Associated with Better Influenza Vaccine Uptake: A Nationwide Cross-sectional Study

著者：Makoto Kaneko, Hironori Yamada, Tadao Okada

掲載雑誌：Family Practice

DOI：10.1093/fampra/cmaf030



用語説明

- *1 患者中心のプライマリ・ケア評価尺度（PCPCM）：プライマリ・ケア（身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療）は、病気に至る前の状態での健康相談や予防医療など、幅広い領域にまたがる。その質の評価尺度 PCPCM（Person-Centered Primary Care Measure）は、患者さんの視点からプライマリ・ケアの医療機関の質を評価する質問紙で、11 項目という少ない質問数でプライマリ・ケアにとって重要な 11 の領域を評価できる点、プライマリ・ケアの質を国際的に比較できる点が特徴となっている。横浜市立大学大学院データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻 金子惇准教授らの研究グループが PCPCM の日本版を開発し、2022 年 5 月に発表。

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/news/2022/202205kanekomakoto.html>